

HOLON

CND機関紙
ホロン

Vol.133

発行日 2013年1月24日

02 CND Action!

鎌仲委員長 新年のご挨拶
新年の抱負を実現しよう!

04 特集

働き方を考える! ~販社営業スタッフ事例紹介~

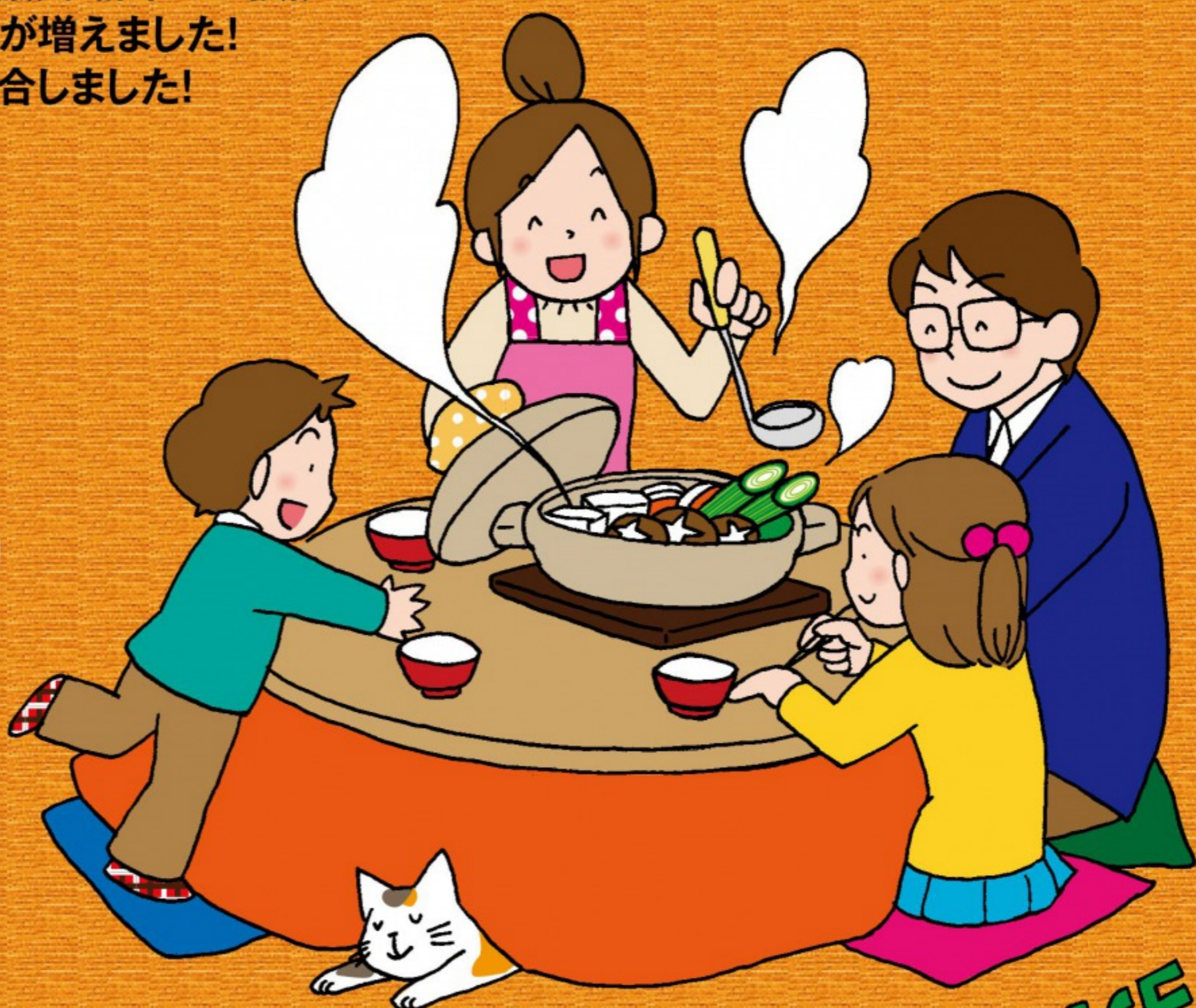
06 HOLONプラス

Enjoy Holiday! 充実した休日の過ごし方提案

08 なおしま正行参議院議員 新年のご挨拶

私たちの新しい仲間が増えました!
2つの労働組合が統合しました!
着ぼいす
HOLONクイズ

ご自宅に持ち帰り
みなさんで
ご覧ください!



WORK LIFE BALANCE



Challenge for
New
Development

新年のご挨拶

あけましておめでとう

おめでとうございます。

● 2013年を迎えて

政権交代後も

自動車関係諸税の取り組みは継続

組合員の皆さま、あけましておめでとうございます。2013年を迎えて、「ご挨拶をさせていただきます。」

昨年を簡単に振り返れば、1月に野田第1次改造内閣発足のもと新年がスタートしました。その後、第2次、第3次改造内閣を経て、昨年12月16日には3年4カ月続いた民主党政権から再び自民党政権へと交代しました。私たちが長年待ち望んだ政権交代が、4年の任期を待たずしてこのような短命で終焉を迎えたことは大変残念であり、その間の政権運営についてはしっかりと総括をする必要があると思います。一方、公立高校の実質無償化、生活保護の母子加算の復活や、消費税率の3.3%から3.0%へ引き下げ、自動車関係諸税のうち、重量税の3千300億円規模の減税については、民主党政権でしか成し得なかったことでもあります。ただ、私たちが目指す自動車課税の抜本的な見直し、簡素化・負担の軽減はまだ道半ばであり、政権が変わろうともこの取り組みは継続をしていく必要があります。

チームワークの大切さとあきらめない気持ちを持つ

また、昨年8月に開催されたロンドン五輪で日本選手が史上最多の38個のメダルを獲得するという明るい話題もありました。2012年を表す漢字が「金」であったように、五輪3連覇を成し遂げた吉田沙保里選手や伊調馨選手

自らが前向きな気持ちを持つ

選手の偉大な記録もありましたが、私はとりわけ日本中に感動を与えたのは、水泳男子メドレーの決勝と、フェンシング男子フルール団体準決勝だったのではないかと思います。水泳男子メドレーでは「チームワークの大切さ」、フェンシング男子団体では「最後まであきらめない気持ち」に感動しました。いずれも金メダルではなく、銀メダルに終わりましたが、個人のためではなく、チームの一員として全力を出し切るその姿に、私は金メダル以上の価値を感じました。私たち労働組合の活動も同じで、組合員とその家族のため、そして、企業発展のために、最後まであきらめず全力で活動をして初めて感動を得られるのだと思います。

更なる意欲・活力のために

振り返れば2008年9月に第11期がスタートし、魅力ある販売業界づくりに向けて、「生活水準の向上」に向けた取り組みと、「働き方変革」の取り組みを重点活動方針の2本柱に掲げ、活動を進めてきました。その背景には、これまで私たち販売業界が不人気業種に挙げられていたこともあり、2つの柱のいずれが欠けても、魅力ある販売業界にはつながらないという思いがあったからです。「働き方変革」については、2005年秋の取り組みからの経緯もあり、長時間労働の是正や効果・効率性の向上は、長期的成果を得ることができました。しかしながら、折からのリーマンショックの影響もあり、もうひとつの柱である「生活水準の

新年の抱負を実現するには!?

年が明け、新たな気持ちで迎えるお正月に、1年間の目標やテーマを決める人も多いと思います。「この1年間で何かをやり遂げたい!」「これまでできていなかったことを達成したい!」などテーマは人それぞれですが、途中で挫折してしまった経験がある人もいるのではないのでしょうか?

今回は、掲げた目標を達成するためのヒントを紹介します。すでに挫折してしまったり、まだ抱負を決めていない方は必見です!

こんな調査が...

ワイズマンという心理学者が、700名を対象に、新年の目標を達成できた人と、できなかった人の違いを調査しました。その調査によると**目標を達成することができたのはわずか22%。約8割の人は、新年の目標を途中で諦めてしまったことがわかりました。**それぞれの傾向を分析すると...

「成功したグループ」の傾向

- 目標までのプロセスを小さく分ける
- 小さなポイントをクリアする度に自分をほめる
- 人に自分の目標を話す
- 成功できた後のポジティブな面を考える
- 日々の記録をとる

「失敗したグループ」の傾向

- 「成功することができなかつたら…」とマイナス思考で考える
- 自分の周りにおける誘惑を取り除く方法をとる
- 模範的なお手本に沿って行動する
- 自分の意思だけの力に頼る

目標達成のための9つのポイント



目標に到達した自分を想像し、プロセスを具体的に考え記録することが大事です。もし一時的に挫折したとしても諦めず前向きに頑張ってください。

考え方のヒント

目標を達成するためのモチベーションを維持するためにも、**プラス思考**で考えることが大事!



例えば
プライベートでは...

- スケジュールの設定
1カ月で2キロ減らす
- 具体的な行動
・毎日20時から1時間ウォーキングする。
・晩御飯はご飯の量を半分に減らす。
・就寝前に30分ストレッチをする。
・朝目覚めたら腹筋を30回する。

目標
6月1日までに10キロやせる!

例えば
職場では...

- スケジュールの設定
毎月、店舗No.1の受注台数
- 具体的な行動
・取り扱い車種の知識を毎日20分勉強する。
・営業力アップのための啓発本を月に一冊読む。
・毎日、新聞を読み社会の流れを把握する。
・問い合わせには、必ず当日中に返答する。

目標
優秀営業スタッフ賞を獲得する!

組合員の皆さんも新年に掲げた抱負を実現できるように、前向きに頑張ってください。



CND中央執行委員長
鎌仲 一樹

向上」については、成果を実感するには至りませんでした。

第12期においては、この先訪れる難局を乗り越えていくためにも、「職場力の向上」が最優先課題として取り組みをスタートさせました。その結果、前述のように労使が一丸となり、東日本大震災という困難を乗り越えることが出来たと確信します。2013年はこれまでのような政府の経済対策が望めないなか、私たちはより高い目標にチャレンジしていかなければなりません。トヨタ自動車が目指す「攻め」に対応していくためにも、私たちは労働の質的向上を経営に伝えるとともに、この先それを更なる意欲・活力としていくためにも、「店舗への投資」だけでなく、将来に向けた「人への投資」の重要性を改めて伝えていく必要があると考えます。私たちの業種はお客さまと最先端で接する小売業であり、人と人との信頼関係で成り立っています。人への投資なくして企業の発展はありません。これまでさまざまな場面で培ってきたお客さまとの絆を大切に、一人でも多くのトヨタファンの輪を広げていくことが、私たちトヨタグループで働く者の幸せ、そして企業の発展につながるものと確信します。今年1年、CNDは加盟組合と共に働く者の意欲・活力の向上に向け全力で取り組んでいきます。



Aトヨタ
営業スタッフ
Iさん

働き方を考えている 2版社の営業スタッフに聞きました!

昨年5月に実施したCND組員「労働時間に関するアンケート」の結果から、労働時間の短い10版社のうち2版社をピックアップし、営業スタッフにお話を聞きました。自身の働き方や職場での働き方を比較し、参考にいただければと思います。



Bトヨベット
営業スタッフ
Kさん

入社したころの働き方はどうでしたか?

私が営業スタッフで入社した13年前は、残業は当たり前、夜10時11時まで残ることも多くありました。お客さまが自宅へ帰ってくる時間帯を狙って訪問販売を行うことで帰社する時間帯が遅く、それからDM作成やTELコールを行っていたためどうしても帰る時間が遅くなりがちでした。

現在の販売方法は?

以前は夜の訪問が多かったのですが、お客さまの要望で日中に訪問するよう徐々にシフトし、それにともない日中に業務の効率化をすることが重要になりました。さらに来店型にする事で、実車を見ていただいたり、周辺商品もご紹介することができ、効率的に営業活動ができていくと感じます。昔ながらの訪問型の方がよいお客さまもいるので、ニーズにあった活動を心がけています。

スケジュール管理はどのように行っていますか?

お客さま商売なので、なかなか上手いことできないことも多いですが、お客さまの言いなりになることではなく、「〇曜日の〇時にご来店いただけませんか?」といったように自分から積極的にスケジュールを提案するようにしています。

労務管理はどのように行っていますか?

17時40分に終礼を行い、その日の残業の有無や業務内容を上司と確認しています。その日にやらなければいけないことなのか、明日でもできる業務なのかなどを上司と話し合い、優先順位を決めて業務を行っています。その結果、労働時間に対する意識が高くなり効率的な仕事を行うにはどのようにしたらよいか考えるようになり、早く帰れるようになりました。

残業時間が減少したことでの利点は?

家族との時間が多くとれることで、心にゆとりが取れるようになりました。夜11時12時まで残業していたときは心身ともに疲れ、翌日の業務に支障をきたしていたと感じます。早く帰れることで、心と体の余裕ができ、翌日働く元気が湧くようになりよい循環でまわっているように感じます。

入社したころの働き方はどうでしたか?

私が入社した7年前は夜9時くらいまでの残業は日常的に行っていました。午前中は、その日作業を行う車両の引取り。日中は、お客さま回り。夕方からは、作業完了車の納車を行っていたため、事務作業はどうしても定時に降にせざるを得なく帰宅する時間が遅くなっていました。

現在の販売方法は?

訪問型から来店型へシフトしました。訪問型をメインに行っていた時代は、どうしても納車・引取りに時間がかかり、効率的な仕事とはかけ離れた状態でありました。また、日中、お客さまが来店されても担当者が不在ということもありました。来店型にしてからは、そのようなこともなくなり、結果としてCS向上につながっていると思います。また、お客さまに来店していただくことで、始業から終業の多くの時間を営業活動に費やすことができるようになり、効率的な仕事ができていると感じています。

来店型のメリットは?

訪問型のときは、時間管理は一人ひとりの営業スタッフの力量に頼ることが多かったと感じています。来店型にすることで、お客さまがお店に来てくれるよう、どう「おもてなし」をするか?楽しんでくれるようにするためにどうすればよいか?を店舗スタッフ全員で考えるようになりました。チームワークがよくなり、結果として店舗の活気もよくなったと思います。

来店型にした際、苦労した点は?

引取り・納車をやめて、来店型にした当初は、お客さまから苦情の声を多くいただきました。店舗全体でそのことを重く受け止め、お客さまの立場に立って、来店していただくメリットを全員で考え、実践してきた結果、現在ではお客さまのご理解をいただいていると感じています。

残業時間が減少したことでの利点は?

限られた時間をいかに有効に活用するかを常に考えるようになりました。結果、実労働時間は短くなりましたが、業績は良くなっているため、効率的な働き方ができていると実感しています。今までよりも早く家に帰れて自分の時間や家族との時間が持てるようになったため、やりがいは昔より上がってきています。働き方を変えた結果、ES・CS・FSは確実に上がっていると実感しています。



まとめ 今回は、実際に効果・効率的な働き方を実践している2人の営業スタッフからお話を伺いました。

お話から分かったことは、「働き方変革」を実行することで、社員・お客さま・家族すべての満足度が上がっているということです。大事なポイントは、社員一人ひとりの力量に頼るだけでなく、上司や店舗スタッフ同士でコミュニケーションをとり、チーム全体で業務について考えていることです。長年にわたり培った職場の風土や一人ひとりの常識を変革していくには、大変な労力が必要になりますが、チーム全体で意識し、考えることでよい働き方が生まれていきます。

みなさんの職場でも積極的に「働き方変革」を実践し、ES・CS・FSの向上に向けて取り組んでいきましょう。

2013年「働き方変革」ツール

CNDが進めている「働き方変革」を促進するツールとして、ポスターと携帯クリーナーを配布します。ポスターは、効率的な働き方を意識できるよう「就業時間内 全力疾走」をキャッチコピーにしました。また、その意識をいつでもどこでも思い出してもらえるよう携帯クリーナーには、ポスターをプリントしています。「時間」を意識した働き方で、ワーク・ライフ・バランスを実現していきましょう。

働き方を考える! 販社営業スタッフ事例紹介

長時間労働の是正と効果・効率的な働き方の取り組み事例を紹介

CNDでは、2005年から「長時間労働の是正」と「効果・効率的な働き方」の両立を目指して、「働き方変革」に取り組んできました。今回は過去より行ってきたアンケートを基に車両販社・営業スタッフの「働き方変革」の経年変化と、店舗の具体的事例をみていきたいと思います。

車両販社の営業スタッフの労働実態も着実に改善!

車両販社の営業スタッフの「20時以降までの働く頻度」を経年比較でみてみます。

2005年には、約7割が「毎日」か「ほとんど」が20時以降まで働くという実態でしたが、2012年の調査では20.7%減少して、47.5%と初めて5割を切りました。

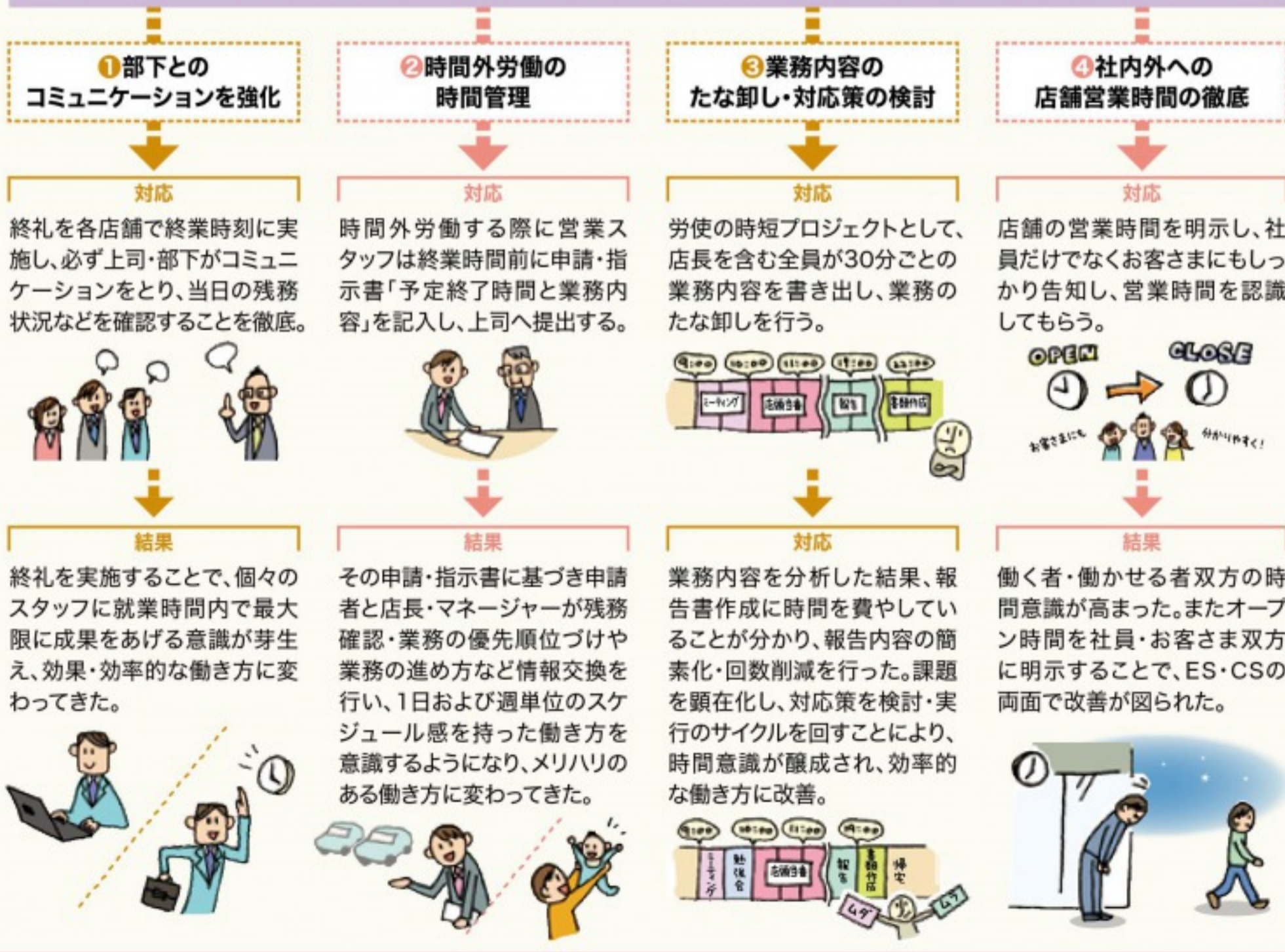
アンケートの結果を見ると「働き方変革」は着実に成果がでていくと判断できるものの、職場では、まだまだ「ワーク・ライフ・バランスの実現」とはかけ離れた実態があることもみられます。「働き方変革」はこれで終わり!といったゴールはありません。

継続して「働き方変革」に取り組むことが必要です。



働き方変革に向けた具体的取り組み事項

労働時間に対する、効率的な働き方に対する意識が低く、長時間労働が常態化





参議院議員
なましまさ行

謹んで
新年のお慶びを
申し上げます。

昨年末の第46回衆議院選挙では、CNDの皆様が全国各地で熱心なご支援をいただきましたことに深く感謝申し上げますと共に、結果を出すことが出来なかったことに対し、心からお詫び申し上げます。
率直に申し上げて民主党は崩壊の危機に直面していると思います。しかし、民主党が掲げた今後の社会のあり方は正しいと思います。党の再生に全力投球して参る所存です。
特に当面、ものづくり産業、とりわけ自動車産業の基盤確保に向けた対策、また、社会保障制度の安定と子育て・教育の充実に取り組まなければなりません。
野党になってもやることは変わりません。国政の場で引き続き努力して参りますので、変わらぬご支援を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。末筆で恐縮ですが、皆様の今後益々のご発展と新しい年のご多幸をご祈念申し上げまして、新年の挨拶といたします。

私たちの新しい仲間が増えました!

【トヨタフリーリース労働組合】



【組合員数】
59名
(男性46名/女性13名)
【執行委員長】
角田 敦
【CND加盟】
2013年1月21日
【組合所在地】
東京都豊島区東池袋
3丁目3番5号

トヨタレンタリース東京労働組合から分離独立し、2013年1月9日に「トヨタフリーリース労働組合」が結成されました。

CND加盟組合は
186組合
となりました

2つの労働組合が統合しました!

【トヨタグループ秋田労働組合】



【組合員数】
385名
(男性317名/女性68名)
【執行委員長】
金持 史宣
【組合所在地】
秋田県秋田市
川尻町字大川反233-7

秋田トヨペット労働組合とトヨタカローラ秋田労働組合の2組合が統合し、2012年11月26日に「トヨタグループ秋田労働組合」が結成されました。

着ばいす

今回も多くの方から記事やCNDの各種取り組みに関するご意見やご感想をいただきました。一部ですがご紹介します。

HOLON132号に寄せられたご意見

12秋の取り組み交渉中!

●取り組みの一つである改正高齡法の動向が気になります。年金が受給できる年齢まで安心して働ける職場を作って欲しいです。【大阪府】

何よりも優先すべきこと!安全衛生

●自動車総連のなかで販売部門が断トツで労働災害の発生頻度が高いとは思いませんでした。【愛知県】

●転倒災害が多いということが分かり、職場内の点検もしてみようと思いました。安全を第一に考えていきたいです。【千葉県】

トヨタホーム編・マイホームができるまで!

●現在、マイホーム購入を考えており、家が出るまでの大体的流れが分かり、とても参考になりました。【青森県】

わたしたちの考える「政策・制度」

●自動車重量税が着実に減税されていっている流れがわかって良かったです。【石川県】

支部なび(西近畿支部)

●今回は地元地域、淡路島が特集されていて改めて知った事もあり、とても興味深く拝見いたしました。【兵庫県】

これからもたくさんのご意見やご感想をお寄せください!



HOLON
クイズ
Vol.133

クイズに答えて
図書カードをもらおう!

(2,000円分)

正解者の
なかから抽選で
30名に進呈!

※ご自宅に送付します。

問題 今号のHOLONはいかがでしたか? さて、下記のクイズに挑戦してみましょう。記事の中にヒントが隠されてるかも...

1 平成25年の干支を漢字で書くと?

2 目標達成のための9つのポイントのうち、二つを挙げてください。

3 2013年「働き方変革」ポスターのキャッチコピーは「就業時間内〇〇疾走」。〇〇に入る言葉は?

4 「METS法」では、体重60kgの人が時速6kmのウォーキングを1時間行くと、約何kcal消費する計算になりますか?

※ホームページで解答される方は ①答え ②答えと入力してください。

HOLON vol.132クイズ

答え

①4418万人 ②20.3% ③1300年 ④19,800円

当選者のみなさん

ホロンクイズ当選者

旭川 P 平野 和幸	KTグループ 千葉 季夫	京都 T 吉田美奈子
東北 K 長沼 良一	横浜 P 山崎 年雄	大阪 T 松浦 由美
はやて H 中澤 慎一	石川 C 増川 秀信	大阪 K 西久保香澄
新潟 TG 入田 茂	愛知 T 岩田 真弥	兵庫 F 樽野 誠
千葉 T 八田 宗治	名古屋 C 河合 紗希	福岡 C 林 武司
東京 T 鈴木麻里子	三重 P 加藤 博紀	熊本 P 村岡幸四郎
東京 R 柳原 聡	滋賀 T 谷村 佳紀	

(敬称略)
たくさんのご応募ありがとうございました。【応募総数129件】

支部なびプレゼント(和歌山・奈良県の名産品セット)当選者

札幌 P 赤川 陽一	東京 R 芹沢 克巳	浪速 C 竹原 俊明
札幌 P 加藤 修司	KTグループ 栃木 晴夫	神戸 P 森田 美保
福島 P 佐藤 泰司	横浜 P 荒井 直哉	
千葉 T 石井謙太郎	静岡 T 西尾不二代	

(敬称略)

応募方法 記事の感想やご意見を添えてご応募ください。

ホームページから

- 1 <http://www.cnd.or.jp>にアクセス
- 2 トップページ「組合員専用ページ」をクリック
- 3 ID / パスワードを入力
ID: cnd パスワード: holon133
- 4 フォームに必要事項を入力し送信

郵便はがき

郵便はがき
4710832
50
HOLON133号
愛知県豊田市丸山町10-5-1
CND広報局

氏名
郵便番号
自宅住所
電話番号
組合名
会社名
よかった記事の感想や意見

答え ① ② ③ ④

郵便はがきに左記の必要事項をご記入のうえ、郵送してください。クイズの答え・氏名・郵便番号・自宅住所・電話番号・組合名・会社名・拠点名、133号でよかった記事のご感想やご意見などをご記入ください。

個人情報の取り扱いについて

CNDでは加盟組合のみさんの個人情報を厳重に取り扱い、適正な個人情報の管理を実施し、ご提供いただいた個人情報は以下の目的で利用します。また、その取り扱いに関する契約を交わした業務委託先にその取り扱いを委託する場合があります。(詳細についてはCNDのホームページ<<http://www.cnd.or.jp>>のプライバシーポリシーをご確認ください)

1. 利用目的: HOLONへ読者の声として掲載・クイズ当選者への発送・お問合せ事項等に関するご連絡
2. 利用後の処分について: 上記の利用目的に使用後は速やかに適切な方法で処分します。